

(仮称) 江坂計画 環境影響評価審査会での意見と回答

	意見	回答
1	コミュニティ 児童の増加について、市の担当部局、住民が懸念を持っている状況であることから、増加による影響と対策の検討等について、担当部局の意見も反映した内容を示していただきたい。	本事業実施による児童の増加による影響について吹田市環境未来創生室にヒアリングを実施し、結果を別紙1に示しました。 担当部局とは、今後の事業計画が具体的に策定される過程において、事業者として実行可能な範囲内で販売時期をずらすなど影響が小さくなるよう協議を継続していくことで了承いただいております。
2	文化遺産 教育委員会から一定の文化財調査計画素案が示されており、調査による環境影響が懸念される。文化財調査による影響の程度及び環境負荷を軽減する対策等を示してもらいたい。	発掘調査は、別紙2に示すとおり調査箇所1～数か所ずつ実施する計画です。発掘調査ではバックホウの使用は1台/日/箇所であり、調査実施の際には、大気・騒音・振動の予測時の工事量を上回らないよう調整し、周辺への影響を低減するよう配慮します。また、掘削土は埋め戻しに利用し場外搬出は行わない計画です。 発掘調査の実施にあたっては、調査地の地盤、地下水位の状況を十分考慮し、土留め、地下水位低下工法などの対策を行うとともに日々の点検を確実に実施いたします。 掘削後の埋戻しの際には、施工中や供用後に地盤の沈下等は生じないように適切に埋め戻しを行います。 現時点で想定している発掘調査計画の変更が生じた場合には、その影響について検討し影響抑制に努めます。また、変更及びその影響について報告いたします。
3	景観 北側からの景観について、影になることもあり暗く見えてしまう懸念がある。もう少し明るい色が採用できなかったのか等、検討経緯を示してもらいたい。	ご意見を踏まえ、計画建物北側色彩について再検討し、別紙3のとおり評価書案時（N5）から検討後（N8）としました。